

## 兵庫県のゴモクムシ類 (2)

森 正人<sup>1)</sup>

### はじめに

前報に引き続き、ゴモクムシ亜科 Harpalinae の残りの種類について整理する。種の整理番号は前報から続いている。

### 各種解説

ツヤゴモクムシ属 Genus *Trichotichnus*

日本には 80 種近くが知られており、少なくとも 12 種が県内に分布する。

#### 28. チビツヤゴモクムシ *Trichotichnus (Pseudotrichotichnus) nanus* Habu, 1954

【文献記録】川西市大和, 美方町 Sonae [高橋徹, 2012]

【標本記録】1ex, 香住町小原, 13-VII-2000; 3exs, 上月町上秋里, 16-V-1999; 1ex, 神戸市道場, 5-V-2004; 2exs, 西宮市武田尾, 11-X-2003.

基産地は英彦山。日本では本州、九州に分布。小型の種類で、樹林の林床、落葉下、土壌中などから採集されるが、個体数は多くない。

#### 29. ウエノツヤゴモクムシ *Trichotichnus (Pseudotrichotichnus) uenoi* Habu, 1969

【標本記録】1ex, 洲本市柏原山, 2-XI-2002.

模式産地は奈良市春日山。文献記録は見られなかった。本州、九州、沖縄に分布。樹林の林床から採集された。個体数は少ない。

#### 30. ハネグロツヤゴモクムシ *Trichotichnus (Trichotichnus) lucidus* (Morawitz, 1863)

【標本記録】1ex, 八千代町笠形山, 25-VI-2007; 3exs, 神河町峰山高原, 10-V-2014.

模式産地は函館。日本では北海道、本州、四国、九州に分布。美しい種類で、日中に林床を歩行中の個体を見かけたことがある。峰山高原では湿地のミズゴケの中から、多くのムネアカマメゴモクムシに混じって複数頭を採集したことがあり、このような環境が本来の生息場所かもしれない。本種と以下 2 種は *orientalis*-group と

されている。文献による記録は確認できなかった。

#### 31. オオイクビツヤゴモクムシ *Trichotichnus (Trichotichnus) nipponicus* Habu, 1954

【文献記録】扇ノ山 [高橋匡, 1982]

【標本記録】3exs, 三原町論鶴羽山, 19-V-2001; 3exs, 洲本市成相谷, 12-X-2002; 1ex, 神戸市道場, 3-I-2005.

基産地は日本複数地。北海道、本州、九州に分布する。林縁部などで採集されることが多いが、生息環境がよくわからない。

#### 32. イクビツヤゴモクムシ *Trichotichnus (Trichotichnus) orientalis* (Hope, 1845)

【標本記録】1ex, 西宮市金仙寺湖, 8-IX-2011.

基産地は China。日本では本州、四国、九州に分布する。文献記録は見つからなかった。本種の生息環境も良くわかっていない。

#### 33. ヒメツヤゴモクムシ *Trichotichnus (Trichotichnus) congruus* (Motschulsky, 1863)

【文献記録】扇ノ山ほか [高橋匡, 1982]; 神戸市六甲山 [八木剛ほか, 2002]; 神河町砥峰高原 [八木剛ほか, 2003]; 神戸市有馬, 川西市大和, 笹部 [高橋徹, 2012]

【標本記録】1ex, 竹野町林, 11-VIII-2000; 1ex, 豊岡市蘇武林道, 14-IX-2013; 15exs, 養父市ハチ高原 550m, 28-IV-2012; 1ex, 川西市一庫, 27-IX-2003; 2exs, 三木市志染町, 24-I-2011; 1ex, 三田市羽東川, 21-IV-2012; 2exs, 神戸市丹生山, 30-III-2003; 2exs, 西宮市武田尾, 12-IV-2012, 伊藤主計; 2exs, 神戸市道場, 3-I-2005; 2exs, 洲本市成相谷, 12-X-2002; 3exs, 三原町論鶴羽山, 14-XI-1999.

基産地は Japon。日本では北海道、本州、四国、九州に分布する。樹林林床で採集されることが多いが、林縁部ややや開放的な場所で見られることもある。個体数は比較的多い。本種と次種は *congruus*-group とされる。

<sup>1)</sup> Masato MORI 環境科学大阪 株式会社

34. エゾツヤゴモクムシ *Trichotichnus (Trichotichnus septentrionalis)* (Habu, 1947)

【標本記録】 1ex, 宍粟市坂の谷, 6-VIII-2005.

基産地は北海道カムイコタン. 北海道, 本州, 四国に分布する. 林床から採集され, 個体数は少ない. 文献記録は確認できなかった.

35. キュウシュウツヤゴモクムシ *Trichotichnus (Trichotichnus) vespertinus* Habu, 1954

【文献記録】 氷ノ山 [高橋匡, 1982]; 川西市見野 [高橋敏, 2012]

【標本記録】 1ex, 伊丹市軍行橋 (猪名川), 17-XI-2011.

基産地は英彦山. 本州, 四国, 九州に分布する. 本種と以下3種は longitarsis-group とされている.

36. ヒコサンツヤゴモクムシ *Trichotichnus (Trichotichnus) noctuabundus* Habu, 1954

【標本記録】 1ex, 三原町諭鶴羽山, 30-X-1999; 1ex, 八鹿町, 22-X-1994; 2exs, 御津町揖保川, 7-VII-2003; 1ex, 伊丹市軍行橋猪名川, 17-XI-2011; 1ex, 西宮市武田尾, 18-IX-2011, 伊藤主計.

基産地は英彦山. 本州, 四国, 九州に分布する. 文献記録はなかった.

37. クビアカツヤゴモクムシ *Trichotichnus (Trichotichnus) longitarsis* Morawitz, 1863

【文献記録】 篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 豊岡市ほか [高橋匡, 1982]; 宝塚市 [高橋敏, 2012]

【標本記録】 5exs, 豊岡市岩井, 12-X-2011; 1ex, 香美町小代区平野, 25-VII-2012, 伊藤主計; 21exs, 香美町大野峠, 22-IX-2015; 1ex, 竹野町林, 11-VIII-2000; 2exs, 養父市八鹿町宿南 (円山川), 19-V-2011; 3exs, 波賀町坂の谷 1200m, 26-VII-2004; 2exs, 生野町段ヶ峰, 14-IV-2001; 3exs, 篠山市福住の池, 9-X-2011, 伊藤主計; 1ex, 川西市一庫ダム, 23-V-2004; 5exs, 神戸市藍那, 10-X-2011.

基産地は函館. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 林縁部などの湿った草地や湿地周辺, 落ち葉下などに多い.

38. オオクロツヤゴモクムシ *Trichotichnus (Trichotichnus) lewisi* Schaubberger, 1936

【文献記録】 扇ノ山 [高橋匡, 1982]; 神河町砥峰高原 [八木剛ほか, 2003]

【標本記録】 1ex, 宍粟市坂の谷, 6-VIII-2005.

基産地は Chuzenji, Kobe. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 県内ではあまり見られなかった.

39. ツヤゴモクムシ属 *Trichotichnus (Trichotichnus) spp.*

【標本記録】 1ex, 波賀町氷ノ山, 24-VII-2004; 1ex, 波賀町音水, 10-VIII-2003; 1ex, 八千代町笠形山, 4-VI-2000; 1ex, 和田

山町鉄鉦山 600m, 7-VII-2001; 1ex, 養父市氷ノ山スキー場, 6-VII-2008.

leptopus-group に属するものが何頭か得られているが, 種を特定できていない.

マメゴモクムシ族 *Stenolophini*

日本では8属が知られており, 兵庫県では以下の7属が確認された.

キベリチビゴモクムシ属 Genus *Dicheirotrichus*

日本には1種が知られており, 県内にも分布する.

40. キベリチビゴモクムシ *Dicheirotrichus (Trichocellus) tenuimanus* (Bates, 1873)

【文献記録】 Hiogo [Bates, 1873]; 篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 猪名川 [高橋敏, 2012]

【標本記録】 1ex, 西宮市武田尾, 30-IV-2011.

基産地は Hiogo, Nagasaki. 北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 河川周辺に生息するが, 県内では余り見られない.

ヒメゴモクムシ属 Genus *Bradycellus*

日本には9種が知られており, 県内では6種が確認できた. *Tachycellus* 亜属のものは分類が難しく, 交尾器の確認が必要である.

41. コクロヒメゴモクムシ *Bradycellus (Tachycellus) subditus* (Lewis, 1897)

【文献記録】 Hiogo [Bates, 1873]; 氷上郡 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 三原郡鮎屋 [高橋寿郎, 1998]; 南淡町 Fukui, 川西市大和, 芦屋市芦屋川, [高橋敏, 2012]

【標本記録】 2exs, 神戸市淡河, 30-III-1997; 1ex, 西宮市すみれ台, 9-XI-1997.

基産地は Hiogo. 北海道, 本州, 四国, 九州に分布する. 草地環境に多い.

42. クロヒメゴモクムシ *Bradycellus (Tachycellus) anchomenoides* (Bates, 1873)

【文献記録】 甲東園 [高橋敏, 2012]

【標本記録】 2exs, 安富町雪彦山, 24-XII-1994; 1ex, 小野市青野ヶ原, 27-XI-2011; 2exs, 神戸市淡河, 30-III-1997.

基産地は Nagasaki. 北海道, 本州, 九州に分布する. 本種も草地で得られることが多い.

43. オオズヒメゴモクムシ *Bradycellus (Tachycellus) grandiceps* (Bates, 1873)

【文献記録】 Ina river [Jaeger・Wrase, 1994]; 宝塚市, 川西市大和 [高橋敏, 2012]

【標本記録】1ex, 川西市一庫, 27-IX-2003; 1ex, 西宮市すみれ台, 23-XI-2006; 7exs, 三原町論鶴羽山, 24-XI-2002; 30exs, 三原町成相谷, 24-XI-2002.

基産地は Japan, 本州, 四国, 九州に分布. 三原町(淡路島)では晩秋に林縁部の側溝でたくさん見られた.

44. カスガヒメゴモクムシ *Bradycellus (Tachycellus) confusus* Jaeger et Wrase, 1994

【文献記録】Kaibara(Tamba), Kobe, Ina river [Jaeger・Wrase, 1994]; Kaibara [吉武啓ほか, 2011]

【標本記録】1ex, 御津町揖保川, 7-VII-2003; 1ex, 三原町成相谷, 24-XI-2002.

基産地は奈良春日山, 三原町では多くの前種に混じって採集された. オオズヒメゴモクとよく似ており, ♂交尾器の形状によって区別できる.

45. アカクビヒメゴモクムシ *Bradycellus (Desbordesus) laeticolor* Bates, 1873

【文献記録】氷上郡 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 甲東園 [高橋敏, 2012]

【標本記録】1ex, 御津町揖保川, 7-VII-2003; 1ex, 上郡町千種川, 13-IX-1989; 1ex, 大河内町千町ヶ峰, 27-VIII-2005; 1ex, 三原町成相, 12-X-2002.

基産地は Nagasaki, China. 日本では本州, 四国, 九州に分布する. 湿った林縁部などの草地で見られることが多い.

46. マルヒメゴモクムシ *Bradycellus (Bradycelloides) fimbriatus* Bates, 1873

【文献記録】氷上郡 [岸田剛二・辻啓介, 1975]

【標本記録】1ex, 養父市八鹿町円山川, 24-IX-2011; 1ex, 上郡町千種川, 13-IX-1989; 1ex, 大河内町千町ヶ峰, 27-VIII-2005; 1ex, 御津町揖保川, 7-VII-2003; 1ex, 三原町成相, 12-X-2002.

基産地は Nagasaki. 日本では本州, 四国, 九州に分布する. 芳賀 (2009) は本種がモグラ巣穴入り口から複数採集されたことを報告している.

ルイスヒメゴモクムシ属 Genus *Psychristus*

日本には1種が知られており, 県内にも分布する.

47. ルイスヒメゴモクムシ *Psychristus (Nipponobradycellus) lewisi* Schubert, 1933

【標本記録】1ex, 宍粟市音水溪谷, 6-VIII-2005; 1ex, 波賀町坂の谷, 2-VIII-1998.

基産地は Nikko. 本州に分布. 文献記録は確認できなかった. 県内ではあまり見られない.

チビゴモクムシ属 Genus *Acupalpus*

日本には5種が知られており, 県内では以下の2種が確認された.

48. キイロチビゴモクムシ *Acupalpus (Palcuapus) inormatus* Bates, 1873

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 篠山町雨石山 [林靖彦ほか, 1995]; 洲本市安乎町ほか [高橋寿郎, 1998]; 城崎町 [高倉康男, 1979]; 出石町ほか [高橋匡, 1982]; 神河町砥峰高原 [八木剛ほか, 2003]; 多可郡中町 [松尾隆人, 2003]; 尼崎市, 三田市有馬富士, 川西市大和, 神戸市東垂水, 甲東園, 姫路市夢前川, 明石市 Nakayagi 海岸, 神戸市住吉, 宝塚市, 神戸市須磨, 川西市見野, 笹部, 猪名川町内馬場, 芦屋市芦屋川 [高橋敏, 2012]

【標本記録】10exs, 上郡町柏野 (千種川), 10-V-2003; 5exs, 加古川市権現湖, 29-VI-2014; 1ex, 稲美町, 4-IV-1997; 5exs, 神戸市道場 (武庫川), 4-VII-2006; 2exs, 宝塚市境野, 6-VII-2006; 1ex, 洲本市鮎屋川, 19-IX-1998.

基産地は Nagasaki, China. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州, 南西諸島に分布する. 湿った草地や湿地, 河川周辺などに見られ, 個体数は大変多い.

49. ホソチビゴモクムシ *Acupalpus (Setacupalpus) sobosanus* Habu, 1954

【標本記録】1ex, 神戸市藍那, 3-VI-2002; 6exs, 宝塚市玉瀬, 8-VIII-2011.

基産地は祖母山. 日本では本州, 九州に分布する. 文献記録は確認できなかった. 放棄水田で確認された.

ムネミゾチビゴモクムシ属 Genus *Anthracus*

日本には1種が知られており, 県内にも分布する.

50. ムネミゾチビゴモクムシ *Anthracus hormi* (Andrews, 1924)

【標本記録】7exs, 三田市香下, 20-IX-2002; 41exs, 三原町上田池, 6-X-2001.

基産地は Burma, Ceylon, India. 日本では本州, 九州に分布する. 文献記録は確認できなかった. 比較的珍しい種類で, 大きな池沼の岸辺で確認され, 産地での個体数は多かった.

マメゴモクムシ属 Genus *Stenolophus*

日本には16種が知られており, 県内では8種が確認された.

51. ムネアカマメゴモクムシ *Stenolophus (Stenolophus) propinquus* Morawitz, 1862

【文献記録】扇ノ山 [高橋匡, 1982]; 加古川, 川西市大和 [高橋

敵,2012]

【標本記録】2exs, 養父市ハチ高原,14-V-2012;21exs, 神河町峰山高原,10-V-2015;2exs, 加西市段下町,29-IV-2003;4exs, 加古川市八幡町(加古川),24-V-2010;2exs, 篠山市福住の池,9-X-2011, 伊藤主計;1ex, 宝塚市玉瀬,3-V-2010;2exs, 三田市(武庫川),20-IX-2010;1ex, 三田市羽東川,21-IV-2012;1ex, 神戸市藍那,7-VI-2002.

基産地は East Siberia. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布する. 河川草地や耕作地など広い環境で見られるが, 湿った草地での個体数が多い.

52. ツヤマメゴモクムシ *Stenolophus (Stenolophus) castanceipennis* Bates, 1873

【文献記録】Hiogo[Bates,1873]; 篠山町 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 洲本市安乎町 [高橋寿郎,1998]; 氷ノ山 [高橋匡,1982]; 多可郡中町 [松尾隆人,2003]; 川西市大和, 神戸市東垂水, 甲東園, 川西市笹部, 猪名川町猪淵 [高橋敏,2012]

【標本記録】2exs, 養父市ハチ高原 550m,28-IV-2012;1ex, 養父市杉ヶ沢,1-VI-2012;1ex, 加美町山口,30-VII-2002;3exs, 尼崎市善法寺(藻川),13-X-2012;10exs, 宝塚市玉瀬,20-IV-2012;2exs, 神戸市烏原,17-VI-2012;1ex, 神戸市有野町,4-VII-1987;1ex, 三原町論鶴羽山,14-XI-1999.

基産地は Nagasaki. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布する. 河川草地や耕作地など広い環境で見られるが, 湿った草地での個体数が多い. *S. iridicolor* Redtenbacher, 1868 は本種のシノニムとされる.

53. ナガマメゴモクムシ *Stenolophus (Stenolophus) agonoides* Batws, 1883

【文献記録】氷上郡 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 日高町 [高橋匡,1982]; 川西市笹部, 西畦野 [高橋敏,2012]

【標本記録】2exs, 香住町小原,10-VII-2001; 16exs, 養父市ハチ高原 550m,28-IV-2012; 2exs, 養父市八鹿町宿南(円山川),19-V-2011;2exs, 養父市杉ヶ沢 700m,28-VIII-2011;1ex, 市川町笠形山,12-IV-1998;3exs, 篠山市福住の池,9-X-2011, 伊藤主計;5exs, 宝塚市玉瀬,20-IV-2012;3exs, 神戸市藍那,28-VI-2002;1ex, 神戸市藍那,7-VI-2002.

基産地は Niigata. 日本では本州, 九州に分布する. 河川草地や水辺周辺のやや湿った環境で見られる.

54. クロサマメゴモクムシ *Stenolophus (Stenolophus) kurosai* Tanaka, 1962

【標本記録】2exs, 神戸市藍那,4-VI-2003;1ex, 神戸市淡河,31-VII-1994;2exs, 神戸市唐櫃,20-VII-2002.

基産地は東京. 日本では本州だけに分布するとされるが, 四国でも得られた. 池の周囲や水辺周辺のやや湿った環境で見られる. 文献記録は確認できなかった.

55. タオマメゴモクムシ *Stenolophus (Stenolophus) taoui* Kasahara, 1989

【標本記録】1ex, 神戸市藍那,2-VI-2002.

基産地は神奈川県横浜. 日本では本州に分布. やや湿った草地環境で得られた. 文献記録は確認できなかった.

56. マメゴモクムシ *Stenolophus (Astenolophus) fulvicornis* Bates, 1863

【文献記録】Hiogo[Bates,1963]; 氷上郡 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 神河町砥峰高原 [八木剛ほか,2003]; 川西市大和, 笹部, 猪名川町, 甲東園, 西宮市御前浜, [高橋敏,2012]

【標本記録】1ex, 香住町小原,10-VII-2001;1ex, 豊岡市蘇武林道,14-IX-2013;3exs, 養父市八鹿町宿南(円山川),19-V-2011;1ex, 朝来市生野白口,23-VII-2007;3exs, 篠山市三国ヶ岳,16-VIII-2004;2exs, 上月町上秋里,16-V-1999;2exs, 加古川市八幡町(加古川),24-V-2010;1ex, 宝塚市玉瀬,3-V-2010;3exs, 神戸市藍那,28-VI-2002;1ex, 川西市一庫ダム,23-V-2004;5exs, 三原町論鶴羽山,19-V-2001;2exs, 洲本市成相谷,12-X-2002.

基産地は兵庫. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州に広く分布する. 河川草地や耕作地など湿った草地で個体数が多い.

57. イツホシマメゴモクムシ *Stenolophus (Egadroma) quinquepustulatus* (Wiedemann, 1823)

【文献記録】篠山町 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 城崎町 [高倉康男,1979]; 出石町ほか [高橋匡,1982]; 川西市大和, 神戸市東垂水, 甲東園, 宝塚市 [高橋敏,2012]

【標本記録】1ex, 洲本市成相谷,12-X-2002.

基産地は India. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州, 南西諸島に広く分布するが南日本に多い. 兵庫県ではあまり見られない. 灯火によく飛来する.

58. ミドリマメゴモクムシ *Stenolophus (Egadroma) difficilis* (Hope, 1845)

【文献記録】氷上郡 [岸田剛二・辻啓介,1975]; 篠山町雨石山 [林靖彦ほか,1995]; 豊岡市ほか [高橋匡,1982]; 多可郡中町 [松尾隆人,2003]; 川西市大和, 見野, 笹部, 佐用町大撫山, 三田市八束山 [高橋敏,2012]

【標本記録】11exs, 養父市八鹿町宿南(円山川),19-V-2011;12exs, 加西市段下町,7-Feb.1999;14exs, 加古川市八幡町(加古川),24-V-2010;5exs, 加古川市権現湖,29-VI-2014;4ex, 神戸市有野町,4-VII-1987;5exs, 神戸市道場(武庫川),4-VII-2006;5exs, 神戸市藤原台,17-VI-1987.

基産地は China. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州, 南西諸島に広く分布し灯火にもよく飛来する.

キベリゴモクムシ属 Genus *Loxoncus*

日本には1種が知られており, 県内にも分布する.

59. キベリゴモクムシ *Loxoncus circumcinctus*  
Motschulsky, 1858

【文献記録】氷上郡 [岸田剛二・辻啓介, 1975]; 篠山町雨石山 [林靖彦ほか, 1995]; 宝塚市 [新家勝, 1988]; 三原郡一宮町 [高橋寿郎, 1998]; 氷ノ山ほか [高橋匡, 1982]; 尼崎市, 三田市有馬富士, 神戸市東垂水, 姫路市夢前川, 甲東園, 三田市大磯, 神戸市住吉, 音水渓谷, 宝塚市, 川西市大和, 見野, 笹部, 芦屋市芦屋川, 猪名川町内馬場 [高橋敏, 2012]

【標本記録】1ex, 豊岡市神鍋高原, 13-VIII-2012; 2exs, 新宮町栗栖川, 13-V-2012; 1ex, 相生市三濃山, 3-VII-1999; 2exs, 社町西古瀬, 7-Feb.-1999; 4exs, 加古川市加古川河口, 4-IX-2011; 11exs, 加古川市八幡町 (加古川), 14-VII-2011; 5exs, 加古川市権現湖, 29-VI-2014; 4exs, 上郡町柏野 (千種川), 10-V-2003; 2exs, 神戸市藍那, 28-VI-2002; 8exs, 神戸市藤原台, 17-VI-1987.

基産地は China. 日本では北海道, 本州, 四国, 九州, 南西諸島に広く分布し, 個体数は多い. 湿った草地や耕作地に多い. *Anoplogenus cyanescens* (Hope, 1845) は本種のシノニムとされる.

兵庫県から 59 種のゴモクムシ亜科の記録を整理し報告した. 兵庫県初記録と思われる 14 種を含めて, 比較的多くの種類が記録できた. 松本 (2011) によれば, 「ゴモク」はゴミを意味する関西の方言に由来しているらしい. まさに, ゴミムシらしいゴミムシと言えるだろう. 植物の種子や実を食べる種類が多く, エノコログサやメヒシバの種子食いが観察されているが, チョウセンゴモクムシはメドハギ種子食に特殊化している可能性が示唆されている. 記録の少ない種類は, 特異な食餌植物に依存している可能性があるが, ほとんど解明が進んでおらず, 今後の研究テーマとしては面白い.

最後に, 文献入手でお世話になった伊藤昇さん (川西市), 標本・データを提供していただいた伊藤主計さん (東大阪市) にお礼を申し上げる.

引用文献

- Bates, H. W., 1873. On the Geodephagos Coleoptera of Japan. Trans. Ent. Spc. London, Part II, 219-322.  
Habu, A., 1973. Carabidae; Harpalini (Insecta; Coleoptera). Fauna Japonica. Keigaku Publishing.  
芳賀馨, 2009. モグラ巣穴の入口部から採集されたマルヒメゴモクムシ. 甲虫ニュース, (167):19.  
林靖彦ほか, 1995. 1989 年度, 雨石山に於ける甲虫相調査報告書. Kasuga, 11; 3-7.  
堀田久, 1976. 先山の昆虫相 (1). Parnassius, 16; 11-32.  
市原実, 2007. 農地地表面における昆虫による雑草種子

捕食量の推定. 日本昆虫学会第 67 回大会講演要旨集.

- 井上寿, 1972. オオズケゴモクムシの生活史. 昆虫と自然, 7(12):10-11.  
Ito N., Species of the genus *Harpalomimetes* (Coleoptera, Carabidae, Harpalini). Elytra, Tokyo, 23 (2): 267-282.  
石田裕, 1957. トゲアシゴモク本州に産す. 昆虫学評論, 8(1):4.  
石谷正宇, 1996. 環境指標としてのゴミムシ類に関する生態学的研究. 比和科学博物館研究報告, 34:1-110.  
Jaeger B. & D. W. Wrase, 1994. Revision der Ostasiatischen Arten des *Bradycellus*-subgenus *Tachycellus* Morawitz; 2. Teil: Die *B. curtulus*- und *chinensis*-Gruppe und Ergänzungen zur *B. anchomenoides*-Gruppe. Linzer biol. Beitr. 26(1): 443-513.  
Kataev B. M., Ground-beetles of the genus *Harpalus* Latreille, 1802 (Insecta, Coleoptera, Carabidae) from East Asia. Steenstrupia, 23: 123-160.  
岸田剛二・辻啓介, 1975. 兵庫県多紀郡篠山町附近の歩行虫. きべりはむし, 4(1/2):16-25.  
九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター共同編集, 1989. 日本産昆虫総目録.  
Löbl・Smetana, 2003. Catalogue of Palaearctic Coleoptera, Apollo Books.  
松本和馬, 2010. ゴミムシ群集による環境評価. 地表性甲虫談話会会報, (10):4-9.  
松本和馬, 2011. 「ゴモクムシ」の意味. 地表性甲虫談話会会報, (11):2.  
松尾隆人, 2003. 多可郡中町の自宅灯火で得た甲虫. きべりはむし, 31(1):48-51.  
森正人, 2015. 兵庫県のゴモクムシ類 (1). きべりはむし, 38(1):13-19.  
森正人, 2012. チョウセンゴモクムシの食餌植物について. Sayabane N.S.(5)58-60.  
新家勝, 1988. 宝塚大橋の甲虫 (その 1). きべりはむし, 16(1):17-19.  
澄川大輔, 2009. 北海道におけるゴモクムシ類の植食性について. jezoensis, (35):56-57.  
高橋敏, 2012. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録 (2). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録, 初宿成彦編, (44):57-90.  
高橋匡, 1982. 但馬地方昆虫目録 (予報第 7 報). Iratsume, 6:57-76.  
高橋寿郎, 1998. 淡路島産甲虫目録 (1). Parnassius, 47:1-9.  
高倉康男, 1979. 城崎産甲虫数種の記録. きべりはむし, 7(2):29.

- 吉武啓・栗原隆・吉松慎一・中谷至伸・安田耕司,2011.  
研究資料農業環境技術研究所所蔵の土生永申コレクション (昆虫綱;コウチュウ目;オサムシ科) 標本目録. 農業環境技術研究所研究報告,(28).
- 八木剛ほか,2003. 砥峰高原の昆虫相. きべりはむし,31(1);1-9.
- 山本義丸,1958. 兵庫県氷上郡昆虫目録,氷上の自然第3集. 兵庫県立柏原高等学校生物教室.



28. チビツヤゴモクムシ



29. ウエノツヤゴモクムシ



30. ハネグロツヤゴモクムシ



31. オオイクビツヤゴモクムシ



32. イクビツヤゴモクムシ



33. ヒメツヤゴモクムシ



34. エツヤゴモクムシ



35. キュウシュウツヤゴモクムシ



36. ヒコサンツヤゴモクムシ



37. クビアカツヤゴモクムシ



38. オオクロツヤゴモクムシ



39. ツヤゴモクムシ属



40. キベリチビゴモクムシ



41. コクロヒメゴモクムシ



42. クロヒメゴモクムシ



43. オオズヒメゴモクムシ



44. カスガヒメゴモクムシ



45. アカクビヒメゴモクムシ



46. マルヒメゴモクムシ



47. ルイスヒメゴモクムシ



48. キイロチビゴモクムシ



49. ホソチビゴモクムシ



50. ムネミゾチビゴモクムシ



51. ムネアカマメゴモクムシ



52. ツヤマメゴモクムシ



53. ナガマメゴモクムシ



54. クロサマメゴモクムシ



55. タオマメゴモクムシ



56. マメゴモクムシ



57. イツホシマメゴモクムシ



58. ミドリマメゴモクムシ



59. キベリマメゴモクムシ